

## 目標 人権の尊重と男女平等意識の形成

## 1 重点取組の評価

重点取組：多様な性・多様な生き方を認める意識の形成と啓発事業の強化	所管課評価
性や生き方の多様性に関する講座、パネル展	A
性的マイノリティ相談窓口	A
外国人のための日本語学習の支援	A
外国人のための相談窓口の設置	A
さまざまな文化の相互理解の促進	B
多様な性のあり方や男女共同参画の視点に立った表現ガイドラインの作成・周知	A

B評価は、新型コロナの影響による文化交流カフェなどの開催回数減のため。  
現在予定通り開催している。

## 2 令和3年度の進捗状況

## &lt; 施策1 &gt; 人権尊重と男女平等の推進

「性の多様性」について、ねりまフォーラム会場にてパネル展を実施した。  
また、新成人向け啓発リーフレットやライブラリーニュース「すてっぷ」にも記事を掲載した。

「表現ガイドライン」と「フリーイラスト」を庁内職員に周知した。  
見直すべき表現については、女性手帳にも掲載した。

情報紙「MOVE」50号は、多様な防災をテーマに区民防災課と連携して作成した。  
中学生向け特別号作成にあたっては、区立中学生意識調査を実施した。

ねりまフォーラムはコロナ禍でも実施可能な映画上映会とし、男女共同参画について考えるきっかけとなるよう当日配布資料に工夫を凝らした。

女性の日に合わせたパネル展を実施し、シールアンケートを行った。  
家庭における男女の協働をテーマに、健康推進課事業の動画「赤ちゃんが来る」を放映した。

区内大学生が男女共同参画推進懇談会委員やねりまフォーラム委員に就任したことにより、若い世代の声を様々な事業に反映することができた。

### 3 懇談会委員からのご意見

#### <施策1> 人権尊重と男女平等の推進

日本語での会話ができない児童や保護者のために、引き続き日本語講座の充実をお願いします。小中学生はタブレットを使つてのZOOM講座も可能かと思ひます。

外国人区民が地域に愛着を持ってくれるようにとの、イイねりまツアーなどはとても良いアイデアだと思ひます。

どんな事業でもコミュニケーションが必要です。何かの役に立ちたいと思ひている方と、誰か手伝つてと願う方同士を結びつけるような事業が開催されることを願ひます。

情報紙「MOVE」の編集デザイン会社が変わり、見やすく、分かりやすくなりました。

情報紙「MOVE」中学生向け特別号については、中高生向けの啓発やアピールなど継続した次世代向け取り組みに活用してほしい。

大学生の懇談員就任などあらゆる事業に若い世代の声を反映してほしい。

子どもの権利研修を今後も進めてほしい。

区民企画講座でも性教育講座を開催できたことは評価できます。性教育は大事なことなので、今後も積極的な講座開催を望みます。

デートDV防止出前講座は、令和4年度試行結果を踏まえて、順次広めていってほしい。また、中学生向け、高校生向け、大学生向けと学齢期に分けた開催を要望します。

男女等性への捉え方は各々の「感覚」によって変わる。中学生以下へは教育、高校生以上へは啓発ができるが、すでに感覚が仕上がっている高齢者の一部の認識を変えるのは難しい。

## 目標 配偶者等暴力被害者への支援と性暴力やハラスメントの防止

### 1 重点取組の評価

重点取組：被害者への支援	所管課評価
配偶者等暴力被害に関する相談窓口の情報提供や一人ひとりの状況にあった相談支援	A
被害者の安全確保や心のケア（DV専門相談）、自立に向けた支援	B・A
加害者更生に関する情報収集・研究	A

B評価は、感染リスクを考慮したDVグループ相談中止のため。

令和4年度現在もDVグループ相談は中止している。

### 2 令和3年度の進捗状況

#### <施策2> 女性への暴力やハラスメントの防止

区立図書館5館で、関連図書の紹介や性暴力啓発チラシ、デートDVリーフレットの配付を行った。

男女共同参画週間やねりまフォーラムで、ハラスメントにかかるパネルを展示した。

男性のための相談事業について、令和4年度実施に向けて開設準備を行った。

区内3大学の学生相談室に、デートDVリーフレットを設置した。

学生向けデートDV啓発出前講座の開催に向けて他自治体の視察を3回実施した。

保護者向け性暴力被害防止リーフレットを、区立小中学校児童生徒の保護者へ配布した。

### 3 懇談会委員からのご意見

#### **<施策1> 配偶者等からの暴力の防止と被害者への支援**

DV、性暴力の被害者支援について、困っている方が相談窓口につながってくれるよう、窓口がすぐわかること、アクセスしやすいこと、対面でなくてもつながること、効果的にSNSを使うことなど引き続きお願いしたい。また加害者＝男性とは言い切れないので、男性にも情報が届くような配慮をお願いします。

コロナ禍でも心の不安を抱える人に対応できるような相談体制の整備を希望します。

互いの体験談を語り合うDVグループ相談は有意義だと思うので、（コロナ禍での中止からの）早い再開を望みます。

#### **<施策2> 女性への暴力やハラスメントの防止**

デートDVリーフレットは、区内3大学をはじめ区内高校などへ積極的に配布してほしい。

性暴力防止リーフレットの新1年生保護者向け配布は、掲載内容の更新も含め継続事業として取り組むことを要望します。

デートDV防止出前講座は、令和4年度試行結果を踏まえて、順次広めていってほしい。また、中学生向け、高校生向け、大学生向けと学齢期に分けた開催を要望します。【再掲】

区民企画講座でも性教育講座を開催できたことは評価できます。性教育は大事なことなので、今後も積極的な講座開催を望みます。【再掲】

## 目標 家庭・職場での男女共同参画とワーク・ライフ・バランスの推進

### 1 重点取組の評価

重点取組：男性への啓発	所管課評価
家事や育児に関する講座	A・B
重点取組：区内事業者への啓発	
事業者向けワーク・ライフ・バランスに関するセミナー	A
ワーク・ライフ・バランス成功事例の紹介、企業認証制度の検討	A
女性活躍推進に関する講座や事例紹介	A
区内事業者に向けた育児・介護休業制度の普及促進、ハラスメント防止の啓発	A
重点取組：男性の意識改革、働き方改革に関する啓発	
男性に向けた育児・介護休業制度の普及促進	A

家事や育児に関する講座のB評価は、新型コロナウイルスの影響による「赤ちゃん準備教室」の一部中止のため。現在予定通り開催している。

### 2 令和3年度の進捗状況

<p><b>&lt;施策1&gt; 家庭生活における男女の協働</b></p> <p>若年女性のための「これからライフ」と年齢制限を設定しない「ゆったりサロン」を統合し、年齢制限を設定しない「わたしのこれからライフ」として実施した。</p> <p><b>&lt;施策2&gt; ワーク・ライフ・バランスと職場における女性活躍の推進</b></p> <p>区内事業者の取組事例を、女性の日パネル展で紹介した。</p> <p>区ホームページの事業者向けページに、「家庭・職場での男女共同参画とワーク・ライフ・バランス」を開設した。</p> <p>「女性のお仕事お役立ちBOOK」を作成した。</p> <p>くるみん（子育て支援）・えるぼし（女性活躍）マークの説明と求人票への表示について案内掲示物を作成し、ワークサポートねりまとハローワーク池袋に掲示した。</p> <p><b>&lt;施策4&gt; 政策等・方針決定過程における男女共同参画</b></p> <p>附属機関会議開催中の一時保育事業を開始した。</p> <p>「女性の参政権」「女性の政治参画マップ2021」のパネルを展示した。</p>
---

### 3 懇談会委員からのご意見

#### < 施策 1 > 家庭生活における男女の協働

新型コロナの影響により「赤ちゃん準備室」の一部中止になったことは残念だが、赤ちゃん準備教室情報編（動画）の作成につながったのは評価できる。沐浴などオンラインでは実感・感覚がつかめない現実があるので、「赤ちゃん準備教室～沐浴体験コース」は今後も続けてほしい。

イヤイヤ期である第一次反抗期、ギャングエイジと呼ばれる8歳から9歳の第二次反抗期、思春期の第一歩と言われる中学生の第三次反抗期、大人と子供の間を生きると言われる高校生の第四次反抗期（反抗期には所説あります）など各時期の子どもを対象とした父親講座を開催することを期待します。

保育園などの利用開始が確定した際に、病児保育などの一時預かり保育についての周知徹底を望みます。

待機児童ゼロ達成の報告はあるが、潜在的に保育園に預けたいが、申し込みを控えている件数は含んでいないと思います。ゼロ達成に甘んじることなく、今後も待機児童対策に取り組んでほしいです。

コロナ禍で介護事業所が事業破綻しないような支援を希望します。

生理の貧困の対策として、公共施設に類する施設で生理用品の配布を続けるとともに、相談できる窓口へつなげるような対応を望みます。

#### < 施策 2 > ワーク・ライフ・バランスと職場における女性活躍の推進

ワークライフバランスの取組は、業種、職種によって様々で、経営に余裕がないとできません。啓発や発信だけでなく、商工会議所や法人会等、賀詞交換会も含めて経営者が多く集まる場で優良企業の表彰を行い徐々に浸透させていくのもいいかなと思います。

#### < 施策 3 > 女性の就労、再就職、能力開発への支援

今までの経験や体験、背景、得意な事、やりたいこと、興味関心を聞くなど、コミュニケーションをたくさん取ることにより、その人にあう能力開発や就職先の選択ができればよいと思います。

#### < 施策 4 > 政策等・方針決定過程における男女共同参画

審議会や機関会議の開催日時は、女性に関わらず委員が参画しやすいように柔軟な設定をお願いします。

## 目標 女性の健康と安心を支える暮らしの実現

### 1 重点取組の評価

重点取組：女性防災リーダーの育成	所管課評価
女性防災リーダー育成講座、講演会	A

### 2 令和3年度の進捗状況

#### <施策1> 女性の健康への支援

赤ちゃん準備教室 情報編（動画）のホームページを作成し、YouTube練馬区公式チャンネルで配信した。

妊娠期から子育て期に活用できる練馬区オリジナルの「ねりますくすくアプリ（電子母子手帳アプリ）」のサービスを開始した。

順天堂大学医学部練馬病院の協力のもと、がんに関する冊子の配布、パネル展示などを周知活動を行った。

#### <施策2> 男女共同参画の視点に立った防災対策

全ての避難拠点運営マニュアルを改訂し、女性の視点に配慮した避難拠点の運営について盛り込んだ。

震災総合訓練を通じて、乳幼児・おむつ交換場所や女性専用物干し場所を設置する訓練を、令和元年度から3年度にかけて、全ての避難拠点で実施した。

「MOVE」（50号）で、女性防災リーダーが様々な防災にかかるアドバイスを行う様子を特集した。

会議や訓練の場では、男女共同参画に視点に立ち、性別・年齢・国籍などに配慮するよう、参加者に働きかけた。

### 3 懇談会委員からのご意見

#### < 施策1 > 女性の健康への支援

生理の貧困の対策として、公共施設に類する施設で生理用品の配布を続けるとともに、相談できる窓口へつなげるような対応を望みます。【再掲】

新型コロナの影響により「赤ちゃん準備室」の一部中止になったことは残念だが、赤ちゃん準備教室情報編（動画）の作成につながったのは評価できる。沐浴などオンラインでは実感・感覚がつかめない現実があるので、「赤ちゃん準備教室～沐浴体験コース」は今後も続けてほしい。【再掲】

イヤイヤ期である第一次反抗期、ギャングエイジと呼ばれる8歳から9歳の第二次反抗期、思春期の第一歩と言われる中学生の第三次反抗期、大人と子供の間を生きると言われる高校生の第四次反抗期（反抗期には所説あります）、各時期の子どもを対象とした父親講座を開催することを期待します。【再掲】

コロナ禍でも心の不安を抱える人に対応できるような相談体制の整備を希望します。【再掲】

#### < 施策2 > 男女共同参画の視点に立った防災対策

女性防災リーダーの育成が進んでいることを頼もしく思います。様々な年代のリーダーが、それぞれの年代の困りごとの解決に向かえるようにと願います。また育てたリーダーたちが地域の避難拠点等で活躍できるような道筋作りもお願いします。（同様意見有り）

女性の視点に配慮した避難拠点の運営について盛り込んだマニュアルが改定されたことは評価します。（同様意見有り） 担い手の高齢化で停滞している避難拠点もあります。全ての避難拠点において、様々な被災者に配慮した対応ができるよう、行政のサポートを望みます。

## 施策の推進について

### 1 令和3年度の進捗状況

#### < 庁内推進体制 >

令和3年8月「練馬区職員ワーク・ライフ・バランス推進計画（第2期）令和3年度年間実施計画」を策定した。「ワーク・ライフ・バランスセミナー」や「女性職員応援プログラム」の実施、妊娠・育児・介護等の両立支援制度の周知、育休取得した男性職員のロールモデルの紹介、超過勤務実績および年休取得実績の管理職への提供等、各種取組を実施した。

新型コロナ禍でも実施開催できるよう、オンライン形式も含めた実施形態で「えーるフェスティバル」を開催した。

区立施設において生理用品とともに、デートDVリーフレットと相談窓口一覧を配布した。

デートDV出前講座の施行に向けて、他自治体の視察を行った。

## 2 懇談会委員からのご意見

### < 推進に向けた連携・協働 >

懇談会は、差別等を受けた区民へどんなフォローができるかなど、建設的な意見を集め、区として何ができるか、何が必要なのか、どんな手段が効果があるのか等を議論する場であって欲しいです。